

2006年11月30日

大分市長 釘 宮 磐 殿

日本共産党大分市議団

団長 大 久 保 八 太
福 間 健 治
広 次 忠 彦
小 手 川 恵

水源地を守る取り組みを求める要望書

大分川は、大野川とともに、私たち大分市民の大切な飲料水の源です。2つの河川の安全性を守ることは、大分市政の大きな課題です。

大分川の上流域である野津原・舟平に作られた安定型の産業廃棄物最終処分場は、本来出るはずのない汚水が河川に流れ込み、大きな問題となり、現在、地元住民と市の産業廃棄物対策室が協働で改善のために努力しているところです。大分市民の飲料水の水源地に産廃場はつくらせてはならないことを、行政も住民も学んでいるはずです。

ところが、野津原今市地区の旧屠畜場予定地に産廃場をつくる計画が浮上しているという情報がわが党議員団に寄せられました。調査によると、この場所は、これまで何度か産廃場建設が浮上しており、最近では豚舎をつくる計画なども持ち上がったと聞き及んでいます。

もし、大分川ダム上流に位置する今市地区に産廃場ができれば、安心・安全、清浄、低廉な水の供給に重大な支障を及ぼすことが懸念されます。

どのような状況下にあっても水源地に産廃場など汚水の原因となる施設をつくることは許されないと考えます。よって、下記の2点につき要望します。

記

- 1、 水源地に産廃場をつくることは、絶対に認めないこと。
- 2、 水源地を守るために、たとえば水道水源保護条例などを早急につくり市民の命の水を守ること。